

# 宝塚大橋の歩道空間整備計画

## 宝塚大橋について

- ▶ 1979年に「ガーデンプリッジ」として完成
- ▶ 「文化の1%システム」により生活文化を創ることを目的として造られた  
全国で2番目の橋梁
- ▶ 武庫川周辺散策空間整備事業※の空間に含まれている橋梁

※県・市が連携して、市民がくつろぎ・交流できる河川敷公園を整備するほか、周遊歩道を統一したイメージで整備するなど、魅力ある憩いの空間を創出することが目的

- ▶ 宝塚市としての位置づけ  
本市の商業・観光・文化・交通の拠点である都市核（都市拠点）にあり、  
観光プロムナードに位置付けられている

## 工事概要

- ▶ 供用から40年以上経過しているため、橋梁の老朽化対策及び耐震補強工事を実施
- ▶ 老朽化対策として、歩道上の花壇やオブジェ等を撤去し、橋面の防水工事を実施

### ①耐震補強

#### 落橋防止構造 (緩衝チェーン)



#### 水平力分担構造



#### 落橋防止構造 (P Cケーブル)



#### モルタル巻立



### ②老朽化対策

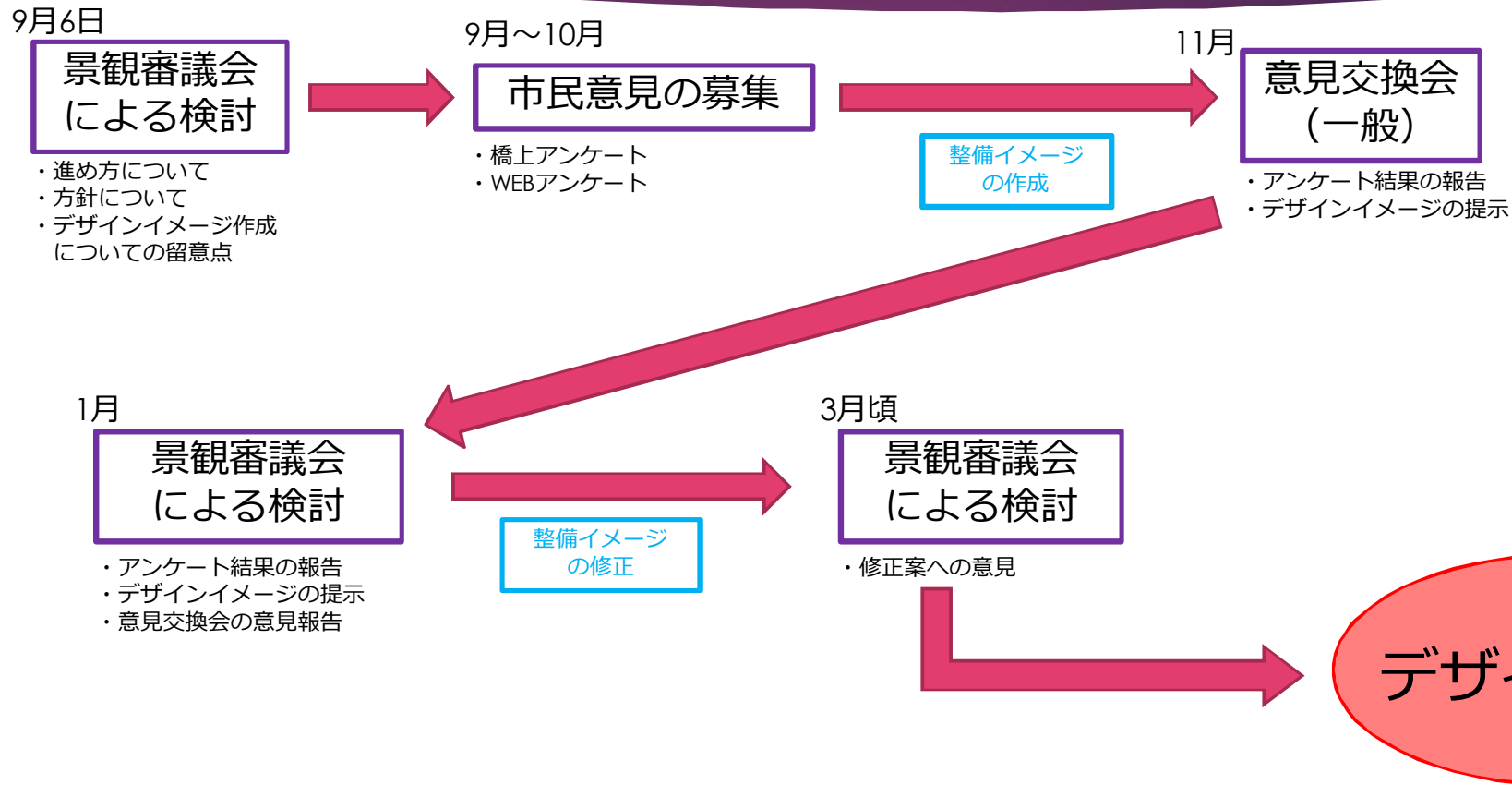
#### 防水工事及び 洗い出し舗装



#### クラック注入



## 進め方



## これまでの意見

### 景観関係

- ▶ 工事前にあったものはすべて戻してほしい
- ▶ 花壇だけ戻してほしい
- ▶ ジェンダーの視点からオブジェ(愛の手)は撤去してほしい
- ▶ 今の景観に合うものを付けてほしい
- ▶ 橋銘板は残してほしい

### 通行関係

- ▶ 広いままの状態がいい
- ▶ 歩行者と自転車を分けてほしい
- ▶ 横断防止柵を付けてほしい

### その他

- ▶ 過度な整備費用はかけないでほしい

## 歩道施設整備の与条件（1）

- ▶ 宝塚大橋は歩行者の交通量が多いため有効幅員は最低でも3.5mを確保
- ▶ 主桁の塗装色は変更不可（マンセル値：5YR7/2）
- ▶ 撤去前の設置構造物の荷重を超えないこと
- ▶ 橋梁の構造に影響のある設置物は避けること
  - 舗装の下部にあるコンクリートの層を突き抜けて橋梁本体に基礎やアンカーを打ち込むこと等

## 歩道施設整備の与条件（2）

| 撤去したもの                    |                      | 現状から残置するもの                                | 新規設置物（例）               |
|---------------------------|----------------------|---|------------------------|
| 再利用不可                     | 再利用可能                |   |                        |
| 噴水<br>四阿<br>花壇<br>舗装（タイル） | オブジェ<br>手塚パネル<br>橋銘板 | 街路灯 <sup>※</sup><br>高欄 <sup>※</sup><br>舗装 | オブジェ<br>横断防止柵<br>市内案内板 |

※塗装及び軽微な変更に関しては対応します

手塚パネル

